



シンプルながらモダンな造りの「とっと工房」。要所に用いられた秋田杉がぬくもりを感じさせます。

地域の善意が育む福祉作業所「とっと工房」(比内町)

町内に県立養護学校を持つ比内町。心身等に障害を持つ人々が働く場は限られる上、近年の雇用情勢を反映し離職傾向にある中、社会経済活動への参加促進を目的に、県町補助と町内外の寄付により念願の小規模作業所が完成しました。

心身障害者を取り巻く

雇用情勢の悪化

保護者の要望に応え

動き出した支援団体

昭和49年に開校した県立比内養護学校。市街地に程近いこの校舎を、地域の人々はこれまであたたかく見守ってきました。開校後の昭和51年生徒の卒業後の就職等を支援する「進路対策後援会」が発足のちに「進路後援会」と名称を改め、学校と保護者、事業所等代表の方々との意見交換を行なうなど地道な取り組みを重ねてきました。

しかしながら、心身等に障害を持つ人々に与えられる「働く場」はもともと限りがあるのに増して、近年の雇用情勢から就労の場は減少しており、また、合理化に伴う人員整理等による離職者も増加するなど、障害を持つ方々の進路決定は難航する傾向にあります。

こうした中、障害者の保護者等をつくる「比内町手をつなぐ育成会」が中心となって賛同する支援者とともに「比内町福祉作業所を支援する会」を立ち上げました。「支援する会」は平成13年4月、町公民館の一室を町に提供してもらい福祉作業所をオープン、生産活動や社会奉仕活動の拠点として位置付けし、利用者の受け入れ体制を整えることができました。作業所の愛称は公募により集まったもののうち3点を組み合わせ、「とっと工房」に決定しました。

生産活動の目玉は町のキャラクターである「まねき鳥」をモチーフにした「とっとグッズ」。コースターやマグネット、耳掻き、箸入れ等を製作し、「比内とりの市」等に出品



「とっとグッズ」をはじめ、利用者とボランティアが共同で製作した「商品」。中には手の込んだものも多く見られます。

したところ意外にも人気商品となったもので、以降は作業のメインとして本格的に製作していくこととなりました。

また、毎月2回を「ボランティアの日」とし、呼びかけに賛同した方々に作業所に集まってもらい、無報酬で作品づくりの手伝いや利用者との交流を図ってもらっています。育成会メンバーなど通常のボランティアに加え、呼びかけに応じたのは町ボランティア連絡協議会員や一般町民で、刺し子や足拭きマットなどの製作活動を手伝います。さらにツールペイント愛好者でつくる「パレットの会」なども参加、型取りの終わった木製マグネットに着色するなど、利用者が仕上げを行ない易いよう手助けしています。

**善意に支えられた
新たな施設の建設**

町では当初、既存の施設老人憩いの家・薬師荘に付帯する大広間部分を改修し、新たな作業所を設置する計画を立てていました。しかし、利用者12名に職員や保護者を含めると20名以上、ボランティアの日はさらに来所者が

上回るため、用地面積が狭く対応できないことがわかりました。「支援する会」は急遽新用地を選定、町と協議し、養護学校に程近い位置に新築する運びとなります。

補助金の関係から、事業主体は町社会福祉協議会に。昨年11月から始まった建設は、予定より1ヶ月も早い1月末に完成となりました。新たな施設は県の「障害者福祉施設等レベルアップ事業」適用第1号。総事業費は3,025万円、これを県が1,000万円、町が1,673万円補助し、残り約352万円は「支援する会」が建設募金として町内外の一般の方々や保護者から募った寄付金で賄いました。寄付金は最終的には目標額を上回る約430万円となり、備品等の購入費にあてられています。

**利用者によさしい
待望の新「とっと工房」**

新しい活動拠点となった新「とっと工房」は、木造平屋建243㎡で、作業室と食堂兼休憩室、事務室を備える必要最小限の大きさですが、窓

を大きく、天井を高く取った設計で、作業室内を明るく広く感じさせます。また、スロップの設置や段差の排除などバリアフリーにも対応しているほか、木材を多用したぬく



もりある内装でゆったりとした時間を過ごせるよう配慮されています。備品等についても「支援する会」や各事業者からの寄贈などにより、少しずつ揃い始めました。

指導員の太越千鶴子さんは「とっと工房を開所して以来利用者誰一人として休まないことから見ても、みんなが

作業にやりがいを感じているようです。最近では分業にリーダーを配置して、チームで取り組むまでになりました」と、利用者の成長ぶりに目を見張ります。

心身の障害により就労の困難な利用者にとって、日中活動の拠点となり生きがいのある生活を支える福祉作業所。社会的自立を手助けするこの施設は、地域や賛同する人々の善意に支えられ、利用者とともに育まれていきます。今春もまた新しい仲間がこのあたたかい空間「とっと工房」に加わる予定です。



新「とっと工房」での作業風景(写真上)と、工房で製作された商品が販売されている道の駅「とっと館」(写真左)。